

IT基本戦略II（骨格）（案）

IT戦略の今後の在り方に
関する専門調査会

個の視点に基づいた
先導的取り組み

新たな国際関係の展開



21世紀型

「元気・安心・感動・便利」社会



利活用

「構造改革」による
既存システムの効率化

利活用

「新価値創造」による
21世紀型産業の形成と
新たな価値の確立

20世紀型工業社会

第二期の次世代IT基盤

第一期の基礎的なIT基盤

I：基本理念

I. 基本理念

1. 我が国のIT革命への取り組みと今後の課題

- (1) これまでの成果
- (2) これから取り組むべき課題

高速3000万世帯・超高速1000万世帯の
「利用可能環境整備」は達成

日本が得意な技術・基盤の応用・利活用により、
社会・経済システムの抜本変革を

2. 戦略思想

- (1) 目指すべき社会
- (2) 利活用戦略の必要性和4つの視点

より便利であることは勿論、安心して生活
ができ、感動を享受し、元気な社会

「個の視点」から、「構造改革」と「新価値創造」を
実行し、新たな社会に即した「国際関係」を目指す

3. 戦略の効果的な遂行

- (1) IT基本戦略IIの構成
- (2) IT戦略本部の役割の強化

9つの「先導的取り組み」を提示し、
そのために必要な5つの「新しいIT社会基盤」を整備

IT戦略本部による主導體制を強化し、戦略の
評価等を実施

II：先導的取り組みによるIT利活用の推進

II. 先導的取り組みによるIT利活用の推進

1. 「構造改革」と「新価値創造」

- (1) ITを軸とした構造改革
- (2) ITを軸とした新価値創造
- (3) 柔軟かつ機動的な資源再配置

構造改革により既存システムの無駄を排除し、
新価値創造により新産業を創出し、新たな活力を提供

改革の両輪を持続的な経済成長につなげるため、
人材や資金等多様な資源の再配置が不可欠

2. 民間が主導する9つの先導的取り組み

- (1) 「医療」
- (2) 「食」
- (3) 「生活」
- (4) 「中小企業金融」
- (5) 「学び」
- (6) 「知識・文化」
- (7) 「就労・労働」
- (8) 「行政サービス」
- (9) 「参画」

国民が便益を実感できる身近な分野から、9つの
「先導的取り組み」を提案し、改革の輪を全体へ拡大

利用者、供給者、関係機関等多角的観点から、
目標、具体策、課題、評価方法を具体的に明記

- ・ カルテ、医療請求書のオンライン化
- ・ 食品の生産地、流通経路の追跡
- ・ 自動安否確認による安心・便利な暮らし
- ・ 様々な場所からの多様な素材を活用した学習
- ・ 文化財のデジタル保存・流通
- ・ オンラインを活用した柔軟な就労選択

III：新しいIT社会基盤の整備

III. 新しいIT社会基盤の整備

1. 次世代情報通信基盤の整備

- ・ 常時接続インターネットが全国で利用できる環境の整備
- ・ 高速・超高速インターネットサービスの更なる推進
- ・ 世界最先端の無線ネットワークの推進
- ・ いつでもどこでも利用できるネットワーク環境の整備

2. 安全安心なIT利用環境の整備

- ・ 情報セキュリティ体制の確立
- ・ ソフトウェアの安全性・信頼性の改善の推進
- ・ 緊急時対応体制の整備
- ・ デジタル情報時代の流通文化の確立

3. 次世代の知を生み出す研究開発の推進

- ・ 超高速インターネット技術の研究開発の推進
- ・ IPv6による、何でもつながるインターネット技術の開発
- ・ 安全性・信頼性対策、個人情報保護
- ・ 電子荷札（電子タグ）技術の研究開発等の推進

4. 利活用時代の学習の振興とIT人材の育成

- ・ 多様なニーズに応える遠隔学習環境の整備
- ・ 社会人学習・生涯学習の促進と高齢者の知的就労環境整備
- ・ 国際競争力のある高度なIT人材の育成
- ・ 海外人材に対する日本語と日本文化に関する学習の提供

5. ITを軸とした新たな国際関係の展開

- ・ ITを軸としたアジア諸国との多面的な協力関係の推進
- ・ アジア地域における情報通信基盤の整備
- ・ 日本文化の発信・普及
- ・ 沖縄におけるITベンチャーの振興